

## 2 実施計画

Stage1  
興味・関心  
をもつ段階

＜保育所、幼稚園＞「1年生の体育の授業を見に行こう！」  
＜小学校＞「運動会の招待状を幼児に渡そう！」

【6月】

### 1 活動のねらい

幼 児	児 童
◆ 1年生の体育の授業を見学して、児童が走っている姿を見て楽しみ、小学校の児童や先生、校庭、そこで行われている教育活動に興味・関心をもつ。	◆ 運動会の自分のめあてを招待状に書き、家族や来年1年生になる幼児に渡すことで、運動会に向けて頑張ろうとする気持ちをもつ。

### 2 指導の流れ

#### (1) 事前の指導

##### 保育所、幼稚園

- ◆ 幼児への指導
  - 小学校から運動会の招待状が園長に届いたことを伝える。
  - 「小学生は、運動会に向けてどのようなことをしているのだろう。小学校に行って、小学生の様子を見てみよう。」と投げかけ、小学校を訪問することへの興味・関心をもたせる。
- ◆ 保護者への取組
  - 小学校の運動会の開催日時や運動会を保護者が参観することの意義などを園だより等で知らせ、幼児と一緒に見学するように働きかける。

小学生は、運動会に向けてどのようなことをしているのだろうか。小学校に見に行ってみようか。

小学生のお兄さんやお姉さんは、どのようなことをしているのか見てみたいな。



- ・ 小学校から園長に、運動会の招待状を届ける。

- ・ 園長から1年生に、来年1年生になる幼児も運動会に招待してほしい旨の手紙を届ける。

##### 小学校

- ◆ 児童への指導
  - 学級活動の時間の導入に、次のような働きかけをして、幼児に運動会の招待状を書くことへの見通しと興味・関心をもたせる。
  - ・ 自分が決めた運動会のめあてを家族に伝えるために、めあてを盛り込んだ招待状を書き、家族に渡すこと。
  - ・ 園長からの依頼の手紙を受けて、家族の他に来年1年生になる幼児にも運動会の招待状を書き、幼児が来校した際に渡すこと。

自分のめあてを書いた運動会の招待状を来年1年生になる保育所や幼稚園の子供たちにも渡して、運動会に来てもらいましょう。



#### (2) 交流の実施

##### 小学校

- ◆ 幼児
  - 1年生の体育の授業を見学し、運動会の招待状を受け取る。
- ◆ 児童
  - 授業を見学に来た幼児に運動会の招待状を渡す。



#### ▼学級活動：指導計画

主題『運動会のめあてを決めよう!』

(1時間)

- 1 運動会の自分のめあてについて話し合う。
- 2 自分のめあてを決めて、家族に渡す運動会の招待状に書く。
- 3 自分のめあてを、保育所や幼稚園の幼児に渡す運動会の招待状に書く。

▼交流の計画 (★幼児の活動に対する保育所の保育士や幼稚園の教員の指導上の留意点及び評価)

時間	児童の活動	幼児の活動	指導上の留意点	評価
9:35 ～ 10:20 2校時	①集合・整列・あいさつをして、体ほぐしの運動をする。  ②めあてを確認する。 ゴールに向かって力いっぱいかけっこをしよう。  ③かけっこをする。  ④整理運動をする。	①1年生の体ほぐしの運動を見ながら、同じように行う。  ②めあてを確認する。 1年生のかけっこを見ながら、すごいと思ったことを見つけよう。  ③1年生がかけっこをする様子を見学する。  ④1年生の整理運動を見ながら、同じように行う。	★めあてが分かっているか声をかける。  ★「1年生、みんな頑張っているね。」などと声をかけ、小学生への憧れを抱けるようにする。	★1年生の走る姿を見て楽しんでるか。
10:20 ～ 10:40 休み時間	①幼児と向かい合うようにして並ぶ。  ②児童が幼児に運動会の招待状を渡し、あいさつをする。  	①1年生と向かい合うようにして並ぶ。  ②1年生から運動会の招待状をもらい、あいさつをする。    ③校庭の遊具等で遊ぶ。 ※可能ならば、3校時に「50m走のコース」を使って、校庭でかけっこをする。	★「1年生がみんなに運動会の招待状を渡したいそうよ。どんな招待状なのか。」などと声をかけ、興味・関心をもてるようにする。  ★招待状をもらった後で、小学生に対して「頑張る」の意味を込めて拍手をするように促す。	★招待状をもらって、自分からあいさつをしているか。

(幼児と1年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と5年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と2・4・5年生の交流)  
幼児と児童の交流

保護者への理解啓発

保育士・教員の連携

(3)事後の指導

保育所、幼稚園

◆幼児への指導

- 帰りの会等で、1年生の体育の授業を見学して楽しかったことや嬉しかったことなどについて振り返り、「また小学校に行きたい。」という気持ちをもてるようにする。
- 児童からもらった運動会の招待状の内容を話しながら、保護者と一緒に小学校の運動会を見学するように促す。

小学校

◆児童への指導

- 来年1年生になる幼児に運動会の招待状を渡した感想などについて話し合い、運動会の自分のめあてに向かって頑張ろうとする気持ちをもてるようにする。
- 児童一人一人の運動会のめあてを教室内に掲示するなどして、日常的に振り返ることができるようにする。

**Stage2**  
慣れ親しむ  
段階

<保育所、幼稚園> 「1年生と一緒に“秋あそび”をしよう！」  
<小学校> 「幼児に“秋あそび”を教えてあげよう！」

【11月】

**1** 活動のねらい

幼児	児童
◆ 1年生の生活の授業に参加し、1年生と一緒に“秋あそび”を楽しむことを通して、小学校の児童や先生、教室、そこで行われている教育活動に慣れ親しむ。	◆ 幼児との遊びに使うものを工夫してつくって、その面白さに気付くとともに、幼児に“秋あそび”を教えてあげることで、自分の成長を感じ取る。

**2** 指導の流れ

(1) 事前の指導

保育所、幼稚園

◆ 幼児への指導

- 運動会の招待状をもらった1年生から、今度は“秋あそび”の招待状が届いたことを伝える。
- 「1年生と一緒にやる“秋あそび”とは、どのような遊びなのだろう。」と投げかけるとともに、園庭や公園などで秋の自然物を見付ける遊びを通して、“秋あそび”への興味・関心をもたせる。

◆ 保護者への取組

- 幼児が参加する1年生の生活の授業の実施日時や参加のねらいなどを園だより等で知らせ、保護者も授業を参観するように働きかける。

・ 1年生から園長に、“秋あそび”の招待状を届ける。

・ 園長から1年生に、園庭や公園で見つけた秋の自然物を届ける。

小学校

◆ 児童への指導

- 生活の単元において、次のような働きかけを行い、幼児に“秋あそび”を教えてあげながら一緒に遊ぶことへの見通しと興味・関心をもたせる。
- ・ 第4時…幼児と一緒に遊びを楽しむことを考えて、遊びに使うものを工夫してつくったり遊ぶときのルールを工夫したりすることを確認して、遊びの計画を立てること。
- ・ 第7時…“秋あそび”の招待状には、遊ぶものを絵で表すなどして、幼児がイメージできるようにすること。

保育所や幼稚園の子供たちは、わたしたちが工夫してつくった遊びを楽しんでくれるかな。

“秋あそび”って、どんな遊びなのだろうね。みんなも、どんぐりやきれいな落ち葉を集めてみよう。



小学生のお兄さんやお姉さんに、早く“秋あそび”を教えてもらいたいな。



(2) 交流の実施

小学校

◆ 幼児

- 1年生と一緒に“秋あそび”をする。

◆ 児童

- 幼児に“秋あそび”を教えてあげながら一緒に遊ぶ。(生活⑧⑨)


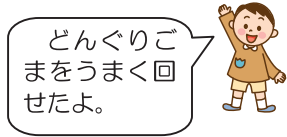
▼生活：指導計画

単元名『“秋あそび”をしよう!』(16時間)

- 公園の秋を見付けに行こう! ①②③
- 幼児と“秋あそび”をしよう!
  - ・ 集めたもので遊ぶ計画を立てる。④
  - ・ 幼児と一緒に遊ぶものをつくる。⑤⑥
  - ・ 幼児に渡す“秋あそび”の招待状をつくる。⑦
  - ・ 幼児に“秋あそび”を教えてあげながら一緒に遊ぶ。⑧⑨
  - ・ 幼児との“秋あそび”を振り返る。⑩
- 自分たちで秋あそび”をしよう! ⑪⑫⑬⑭
- “秋あそび”をして楽しかったことを伝えよう。⑮⑯



▼交流の計画 (★幼児の活動に対する保育所の保育士や幼稚園の教員の指導上の留意点及び評価)

時 間	児童の活動	幼児の活動	指導上の留意点	評 価
9:35 ～ 10:20 2校時	①グループごとに幼児を迎え入れる。  ②めあてを確認する。 幼児に“秋あそび”を教えてあげながら楽しく遊ぼう。  ③グループごとに「どんぐりルーレット」で遊ぶ。 ・遊びのやり方やルールを幼児に説明する。 ・幼児の実態に合わせてルールを工夫しながら遊ぶようにする。  ④遊びの中で楽しかったことやルールを工夫したことを発表する。	①1年生の各グループに入る。  ②めあてを確認する。 1年生と一緒に楽しく“秋あそび”をしよう。  ③グループごとに「どんぐりルーレット」で遊ぶ。 ・ルールや順番を守って仲良く遊ぶ。   ④遊びの中で楽しかったことを発表する。	★事前にグループ割をしておく。  ★めあてが分かっているか声をかける。  ★遊びのやり方やルールが分からない幼児には、1年生や小学校の先生に聞くように促す。  ★数人の幼児を指名し、大きな声で発表するように促す。	★1年生と一緒に楽しく遊んでいるか。  ★分からないことは1年生や小学校の先生に聞いているか。
10:20 ～ 10:40 休み時間	○グループの幼児を連れてトイレや水飲みに行ったり校庭へ遊びに行ったりする。	○1年生と一緒にトイレや水飲みに行ったり校庭へ遊びに行ったりする。	★小学校の先生と分担して校内と校庭における児童と幼児の活動を援助する。	★1年生と一緒に行動しているか。
10:40 ～ 11:25 3校時	⑤グループごとに「どんぐりごま」で遊ぶ。 ・遊びのやり方やルールを幼児に説明する。 ・幼児の実態に合わせてルールを工夫しながら遊ぶようにする。  ⑥遊びの中で楽しかったことやルールを工夫したことを発表する。	⑤グループごとに「どんぐりごま」で遊ぶ。 ・ルールや順番を守って仲良く遊ぶ。    ⑥遊びの中で楽しかったことを発表する。	★遊びのやり方やルールが分からない幼児には1年生や小学校の先生に聞くように促す。  ★数人の幼児を指名し、大きな声で発表するように促す。	★1年生と一緒に楽しく遊んでいるか。  ★分からないことは1年生や小学校の先生に聞いているか。

(3) 事後の指導

保育所、幼稚園

◆ 幼児への指導

- 帰りの会等で、1年生と“秋あそび”をしたことを話題にし、「また1年生と一緒に遊びたい。」「また小学校に行きたい。」という期待感をもてるようにする。
- 日常の遊びの中で、木の実や落ち葉などの自然物を使った遊びにつながるような環境を整えて、小学校での“秋あそび”をした経験を生かせるようにする。

小学校

◆ 児童への指導

- 第10時…自分たちが考えた“秋あそび”について楽しかったことや気付いたことなどを振り返り、“秋あそびカード”に絵や文でまとめる。
- “秋あそびカード”の中に書かれた、「また幼児と一緒に遊びたい」といった感想を取り上げ、今後の幼児との交流に期待をもたせるようにする。

(幼児と1年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と5年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と2・4・5年生の交流)  
幼児と児童の交流

保護者への理解啓発

保育士・教員の連携



**Stage2**  
慣れ親しむ  
段階

＜保育所、幼稚園＞ 「“交流給食会”で1年生と一緒に給食を食べよう！」  
 ＜小学校＞ 「幼児のお世話をしながら楽しく給食を食べよう！」

【12月】

**1** 活動のねらい

※モデルプラン2と3で、5年生との“交流給食会”を実施する際は、この指導計画を参考にしてください。

幼 児	児 童
◆ 1年生との“交流給食会”に参加し、一緒に給食を食べることを通して、小学校の児童や先生、ランチルーム、給食などに慣れ親しむようにする。	◆ “交流給食会”で幼児に給食の配膳や片付けの仕方、食べるときのルールやマナーなどを教えてあげながら楽しく給食を食べることで、自らの成長を感じ取る。

**2** 指導の流れ

(1) 事前の指導

保育所、幼稚園

◆ 幼児への指導

- “秋遊び”を一緒にしてくれた1年生から、“交流給食会”の招待状が届いたことを伝える。
- 給食を食べている児童の写真を見せて、「どんなおいしい給食が出るのかな。」「どんなふうにみんなで食べているのかな。」と投げかけ、小学校を訪問することへの興味・関心をもたせる。

◆ 保護者への取組

- 幼児が参加する1年生との“交流給食会”の実施日時や参加のねらいなどを園だより等で知らせ、保護者も“交流給食会”を参観するように働きかける。

・ 1年生から園長に、“交流給食会”の招待状を届ける。

・ 園長から1年生に、“交流給食会”に行くことを楽しみにしている旨の手紙を届ける。

小学校

◆ 児童への指導

- 学級会の「事前の活動」において、来年の4月には2年生となり新1年生を迎える立場になることから、「幼児が楽しく給食を食べられるようにするにはどのようにしたらよいか。」という問題意識を共有化しながら議題を決定する。
- 学級会では、“交流給食会”で幼児に楽しく給食を食べてもらうためのかかわり方について話し合うようにして、来年の4月には新1年生を迎える立場になることへの自覚をもたせる。



保育所や幼稚園の子供たちと楽しく給食を食べられるように、進んでお世話をしたいな。

1年生から「小学校のおいしい給食を食べに来てね!」という招待状が届いたよ。どんな給食が出るのだろうか。



お弁当と違って、給食ってどんなふうに見えるのかな。



(2) 交流の実施

小学校

◆ 幼児

- 1年生と一緒に給食を食べる。

◆ 児童

- 幼児が楽しく給食を食べられるようにお世話をしながら食べる。



▼ 学級活動：指導計画

主題名『幼児と一緒に楽しく給食を食べよう!』

(1時間)

- 1 幼児と一緒に楽しく給食を食べるための方法について話し合う。①
  - ・ 役割分担
  - ・ 幼児へのかかわり方 等
- 2 幼児が楽しく給食を食べられるようにお世話をしながら食べる。
- 3 事後の振り返りを行う。(帰りの会)

▼交流の計画 (★幼児の活動に対する保育所の保育士や幼稚園の教員の指導上の留意点及び評価)

時間	児童の活動	幼児の活動	指導上の留意点	評価
12:15 ～ 13:05 給食の時間	①グループごとに幼児を迎え入れ、めあてを確認する。 ②幼児を洗面所に案内して手洗いをする。 ③給食の準備を行う。 配膳は私たちがやってあげるから、座って見ていてね。 ④「いただきます。」のあいさつをする。 ⑤給食を食べる。 ⑥「ごちそうさま。」のあいさつをする。 ⑦幼児と一緒に片付けをする。	①1年生の各グループに入り、めあてを確認する。 1年生と一緒に楽しく給食を食べよう。 ②1年生に洗面所に案内をしてもらい手洗いをする。 ③配膳が終わるまで座って待つ。 給食当番の人がみんなによそってあげているね。 ④1年生と一緒に、「いただきます。」のあいさつをする。 ⑤給食を食べる。 ⑥1年生と一緒に、「ごちそうさま。」のあいさつをする。 ⑦1年生に教えてもらいながら片付けをする。	★“秋遊び”のときと同じグループに入るようにする。 ★名札を着用し、お互いが名前呼び合えるようにする。 ★めあてが分かっているか声をかける。  ★給食のときのルールやマナーが守れていないような場合は声をかける。 ★困っている様子が見られる幼児には、1年生や小学校の先生に聞くように指示する。	★配膳が終わるまで座って待っているか。 ★1年生と一緒に楽しく給食を食べているか。 ★困ったことがあったら、1年生や小学校の先生に聞いているか。
13:05 ～ 13:25 休み時間	○グループの幼児を連れてトイレや水飲みに行ったり校庭へ遊びに行ったりする。	○1年生と一緒にトイレや水飲みに行ったり校庭へ遊びに行ったりする。	★小学校の先生と分担して校内と校庭における児童と幼児の活動を援助する。	★1年生と一緒に行動しているか。
13:25 ～ 13:40 掃除の時間	○教室等の掃除を行う。 保育所や幼稚園の子供たちのお手本になるように、掃除をしっかりやらなくちゃいけないね。	○先生の引率により校舎内を歩き、掃除の様子を見学する。 小学校では自分たちで掃除をするんだね。	★小学生が掃除をしている姿に意識がいくように声をかける。	★廊下を並んで静かに歩きながら見学しているか。

(3) 事後の指導

保育所、幼稚園

◆幼児への指導

- 帰りの会等で、楽しかったことや嬉しかったことなどを振り返り、「また小学校に行きたい。」という期待感がもてるようにする。
- 日常生活の中で、保育所や幼稚園での食事のルールやマナーを再確認して、小学校での給食を食べた経験を生かせるようにする。

小学校

◆児童への指導

- 帰りの会等で、幼児が楽しく給食を食べられるようにお世話をするのができたか振り返り、2年生に進級することへの期待感を高める。
- 次の幼児と交流する活動について予告し、幼児と交流することへの興味・関心をもてるようにする。

(幼児と1年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と5年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と2・4・5年生の交流)  
幼児と児童の交流

保護者への理解啓発

保育士・教員の連携

**Stage3**  
期待感を  
高める段階

＜保育所、幼稚園、小学校＞

「みんなで力を合わせて“なかよしタワー”の飾り付けをしよう！」

【1月】

1 活動のねらい

幼 児	児 童
◆ 1年生の図画工作の授業に参加し、自分の思いや願いを發揮しながら1年生と協同して“なかよしタワー”の飾り付けをしてタワーを仕上げることで満足感を味わい、小学校生活への期待感を高める。	◆ 好きな色を選んだりいろいろな形をつくりたりして楽しんだり、つくり方を考えるなどしながら、幼児と協同して“なかよしタワー”の飾り付けをしてタワーを仕上げることで、表現することの喜びを味わうようにする。

2 指導の流れ

(1) 事前の指導

保育所、幼稚園

◆ 幼児への指導

- 一緒に“秋あそび”をした1年生から「展示会に展示する“なかよしタワー”の飾り付けを一緒にしよう。」という招待状が届いたことを伝える。
- “なかよしタワー”の見本の写真を見せながら、タワーの飾り付けを1年生と一緒にという活動内容を伝え、興味・関心をもたせる。

◆ 保護者への取組

- 幼児が参加する1年生の図画工作の実施日時や参加のねらいなどを園だより等で知らせ、保護者も授業を参観するように働きかける。

・1年生から園長に、“なかよしタワー”の飾り付けをすることを呼びかける招待状を届ける。

・園長から1年生に、幼児が“なかよしタワー”の飾り付けを一緒にすることを楽しみにしている旨の手紙を届ける。

小学校

◆ 児童への指導

- 図画工作の単元の導入で、次のような働きかけをして、幼児と協同して展示会に展示する“なかよしタワー”の飾り付けをすることへの見通しと興味・関心をもたせる。
- ・“なかよしタワー”は、来年入学する幼児も小学校の展示会を見学して楽しめるようにつくること。
- ・幼児が考えた飾り付けを生かしてあげるように工夫すること。

幼稚園や保育所の子供たちは、どのような飾り付けを考えるのかな。

小学校の展示会に出す“なかよしタワー”に、みんなはどのような飾りを付けたいですか。

金色や銀色の折り紙で星をつかって、タワーに飾ってみたいな。



(2) 交流の実施

小学校

◆ 幼児 ◆ 児童

- みんなで力を合わせて“なかよしタワー”の飾り付けをする。(図画工作③④)



▼ 図画工作：指導計画

単元名『“なかよしタワー”をつくろう』

(4時間)

- 1 グループごとにタワーに紙を貼る。①
  - ・タワーの色(2、3色)を相談し、大きな紙にローラーで着色する。
  - ・着色した紙をタワーの骨組にボンドで貼る。
- 2 自分の似顔絵をクレパスで描き、タワーに貼り付ける。②
- 3 幼児と協同して“なかよしタワー”の飾り付けをする。③④



▼交流の計画 (★幼児の活動に対する保育所の保育士や幼稚園の教員の指導上の留意点及び評価)

時間	児童・幼児の活動	指導上の留意点	評価
9:35 ～ 10:20 2校時	①グループごとに幼児を迎え入れる。  ②めあてを確認する。 みんなで力を合わせて“なかよしタワー”の飾り付けをしよう。  ③学級全体でどのような飾りを付けるか話し合う。 ・色紙で形を切って貼る。 ・マジックでデザインを描く。 ・紙テープを巻くようにして貼る。など  ④グループごとにどのような飾りを付けるか話し合う。 わたしたちの顔をかいて貼りたいな。 スタンプで模様を付けてみたいな。  ⑤グループごとに飾り付けをする。	★“秋あそび”のときと同じグループに入るようにする。 ★めあてが分かっているか声をかける。  ★幼児の発言については、その意図を補足するなどして全体に広げる。 ★保育所や幼稚園で体験した遊びの中で生かせるものを発言するように助言する。  ★小学校の授業では時間の区切りがあることを教える。	★1年生と積極的にかかわろうとしているか。  ★進んで話し合いに参加しているか。  ★進んで飾り付けに参加しているか。
10:20 ～ 10:40 休み時間	○グループの幼児とトイレや水飲みに行ったり、校庭へ遊びに行ったりする。 今日は、ジャングルジムで一緒に遊ぼうよ。 ジャングルジムって、校庭のどこにあるのかな。	★小学校の先生と分担して校内と校庭における児童と幼児の活動を見取り援助する。	★授業と授業の間に休み時間があることを感じているか。
10:40 ～ 11:25 3校時	⑥グループごとに飾り付けをする。 ⑦グループごとに作品のよいところや頑張ったことを発表し合う。 保育所や幼稚園の子供たちも上手に飾り付けができました。 楽しい“なかよしタワー”ができて、うれしいです。	★数人の幼児を指名し、大きな声で発表するように促す。	★分からないことは1年生や小学校の先生に聞いているか。

(3) 事後の指導

保育所、幼稚園

◆ 幼児への指導

- 帰りの会等で、1年生と協力して飾り付けができたことを話題にして賞賛し、小学校生活への期待感を高めるようにする。
- 日常の遊びの中で、“学校ごっこ”の遊びにつながるような環境を整えて、小学校でのこれまでの経験を生かせるようにする。

小学校

◆ 児童への指導

- 帰りの会等で、幼児と協力して飾り付けができたことを取り上げて、2年生に進級することへの自信や意欲をもてるようにする。
- “なかよしタワー”を展示する展示会を、幼児と一緒に見学することを伝え、同じグループの幼児に展示会の招待状を書く。

(幼児と1年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と5年生の交流)  
幼児と児童の交流

(幼児と2・4・5年生の交流)  
幼児と児童の交流

保護者への理解啓発

保育士・教員の連携